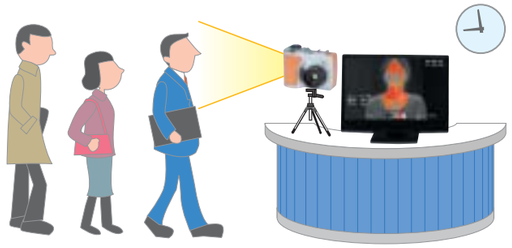
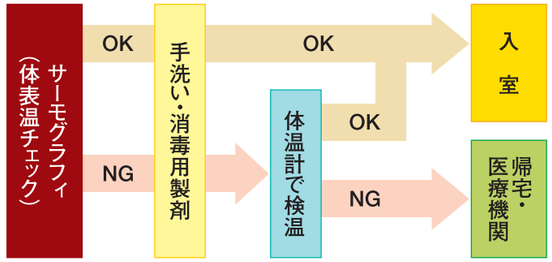
サーモグラフィ運用手順の例

入場時の社員・お客様の体表温をチェックし、高温者の入室を制限



※気温・天候その他の条件で判定基準の変更が必要です。



製品ラインアップと主な仕様

タイプ	入場監視モデル		
製品モデル	TVS-500ISS	TVS-200ISS	F30IS
▼主な仕様	ブザーユニット付	ブザーユニット付	ブザーユニット付
測定温度範囲（測定精度）	−10〜60℃（±1.0℃）※1	−10〜60℃（±1.0℃）※1	−20〜100℃（±1.0℃）※2
測定時間	1/60秒	1/60秒	1/8.5秒
センサー画素数	320 × 240	320 × 240	160 × 120
スクリーニング判定値・設定支援機能	有	有	有
アラーム出力	ブザー、ランプ表示	ブザー、ランプ表示	ブザー
可視画像表示	有（熱画像と合成可）	有（熱画像と合成可）	有（熱画像と切替）
画像記録機能	有	有	有
バッテリ駆動	可	可	可

※1 30℃黒体。環境温度20〜30℃、30℃黒体測定時、中心固定点。　※2 30℃黒体。環境温度：20℃〜30℃、測定対象温度：30℃〜40℃、中心固定点。

⚠ 本製品使用上のご注意　正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。

●本システムで測定するのは、「体表面温度」であり一般的な体温計で測られる「体温」の値とは異なります。天候・外気温の影響を受け一般的に低めに表示されます。 ●髪の毛で額が隠れている場合は、額温度が測定出来ません。 ●洗顔後や、汗をかいている時、寒い所から戻ってきた時などは、温度が低く検知される可能性があります。●周囲の放熱物体や携帯カイロ等の熱源、運動した直後などは、温度が高く検知される可能性があります。●計測結果は、皮膚表面温度であり、体温とは異なります。 ●スクリーニングで発熱の疑いがある場合、体温計での検温が必要です。また発熱が確認された場合、別途医師による診察が必要になります。 ●本赤外線サーモグラフィ装置は、診断治療などの医療行為には使用できません。 ●【スクリーニング判定支援機能】とは「対象者がスクリーニング観測時点より前に最も馴染んでいた温度」を環境温と定義、環境温を入力するとスクリーニング設定値の目安をサポート表示設定する機能です。この値は目安であり、設置環境・天候・機器の特性などによりスクリーニング設定値をお客様が設定調整していただく必要があります。 ●記載されている会社名及び商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。 ●カタログ中の画面はハメコミ合成です。 ●記載の仕様・デザイン・価格等は改善のため予告なしに変更する場合があります。また、写真の色は印刷のため実際の商品の色と多少異なる場合 があります。

★記載の赤外線サーモグラフィ装置は、外国為替および外国貿易法の規制により「リスト規制品」に該当します。日本国外に持ち出す際には、必ず日本国政府の輸出許可等、必要な手続きをお取り下さい。 ★リスト規制品以外の製品は「キャッチオール規制対象品」となります。ホワイト国（26カ国 経済産業省：輸出貿易管理令別表第3参照）以外に輸出や非居住者への技術提供の場合には日本国の許可が必要となる場合があります。★詳しくは弊社販売員よりご説明いたします。

NEC Avio赤外線テクノロジー株式会社

〒141-8535　東京都品川区西五反田8丁目1番5号
TEL.03-5436-1611　FAX.03-5436-1619

http://www.nec-avio.co.jp/

⚠ 安全に関するご注意

ご使用の際は、製品に添付されている取扱説明書の「警告・注意事項」をよくお読みの上、正しくお使いください。高温、多湿、水、ほこり、腐食性ガスの多い場所に設置しないでください。

お問い合わせ、ご用命は下記まで

＜お客様相談窓口＞ フリーダイヤルにより全国から無料でお問い合わせできます

0120-338-860　受付時間：平日 AM9:00〜PM5:00

札幌営業所 ☎011-737-4409　大宮営業所 ☎048-653-9520　名古屋支店 ☎052-957-6530　岡山営業所 ☎086-225-0904
仙台営業所 ☎022-265-0521　本店営業部 ☎03-5436-1375　大阪支店 ☎06-6838-3901　福岡支店 ☎092-431-9100

この印刷物は再生紙を使用しています　　2009年00月00日制作　　000O-000O-0900II

NEC/Avio

体表温度スクリーニング サーモグラフィ

パンデミック対策ソリューション

企業・空港・医療機関・教育機関・公共施設・商業施設・アミューズメント施設など、人が集まる場所での感染封じ込めに!

F30ISモデル

サーモグラフィは、非接触でリアルタイムに
高温者（発熱の疑い）を早期発見!
入場管理による感染拡大の防止で
事業の継続を支援いたします。

ISO9001 JQA-1598　ISO14001 JQA-EM0260 HEAD OFFICE

NEC Avio赤外線テクノロジー
http://www.nec-avio.co.jp/

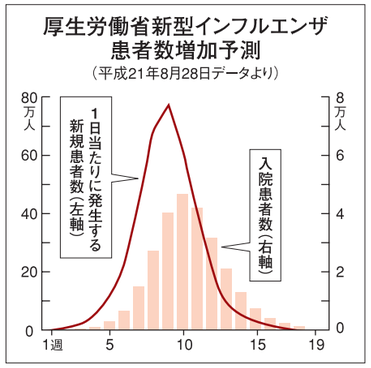
JCSS 0211

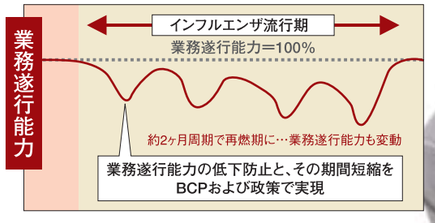
JCSSは、計量法に基づく校正事業者登録制度の標章です。
当社品質保証部は、国際MRA対応JCSS認定事業者です。
JCSS0211は当社品質保証部の認定番号です。

非接触・リアルタイムに高温者（発熱の疑い）の早期発見で、感染拡大の防止に貢献！

継続する新型インフルエンザの脅威と事業継続への影響

企業活動の継続にはBCP（Business Continuity Plan）策定と感染拡大防止対策の導入が急務であり、**「安全」**で**「効率」**よく**「簡単」**に検温を実施できるシステムが求められています。サーモグラフィによる体表温度スクリーニングは感染拡大防止に極めて有効な手段であり、事業継続に欠かせないツールです。





2009年の新型インフルエンザでは流行ピーク時に1日76万人が新たに罹患、約4.6万人が入院すると予測されています。全国民のうち2500万人が罹患、約2ヶ月間続く流行期では家族の介護も含めて**最大で40%が欠勤**すると想像されています。（厚生労働省予測）

発熱チェックによる事業継続対策

世界的大流行（パンデミック）が懸念…

新型インフルエンザ対策ガイドライン（厚生労働省）

→ 従業員・入場者の発熱チェックが **重要！**

新型インフルエンザは1～3日で発症、38℃を超す発熱があるといわれます。サーモグラフィーでの体表温度スクリーニングにより、発熱兆候者を早期に発見し、所定のBCPに従った各種対策（例：出勤停止や自宅待機指示）を実施することで、施設内への入場を制限して事業継続のリスクを軽減できます。

サーモグラフィによる感染拡大防止と事業継続のタイムチャート

1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目	11日目	12日目

感染～潜伏期	症状期	回復期　感染防止・自宅待機
感染から1～3日	症状期は3日～7日程度	発症から回復までは数日間必要
【発症】 発症すると… 38℃～39℃の発熱 咳・頭痛・腰痛・筋痛・ 全身倦怠感などの 症状が現れる。	【対策】 ①38℃以上の発熱者を早期発見し、感染拡大防止策を実施 ②発熱外来・医療機関へ… 治療、外出を控えるなど、感染拡大に留意する	【対策】 ①発熱外来・医療機関での治療継続 ②治療、外出を控え感染拡大を防止。 ③家庭内感染防止に留意。 （消毒、手洗い、うがい、マスクなど）

障害発生 → 感染拡大防止 → 事業継続・正常化

体表温度スクリーニングサーモグラフィの特長

国内トップメーカ 早期発見でも 実績 No.1
（2009年8月末現在、当社調査による）

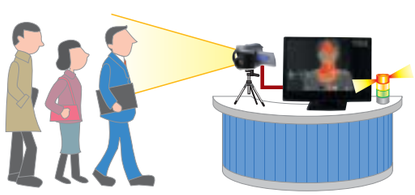
サーモグラフィのリアルタイムスクリーニング検査は体温計での検温時間を大幅スピードアップ

※体温計は、1人計測に約30秒。1000人検温すると約8.3時間必要。

特長1 リアルタイム
連続する入場者を歩くスピードで検知

特長2 安全・非接触
飛沫感染のおそれがある範囲外で測定

特長3 警報表示
熱アラーム表示で高温者を判別



顔の表面温度の観測

利用シーンに適応したモデルをご提案

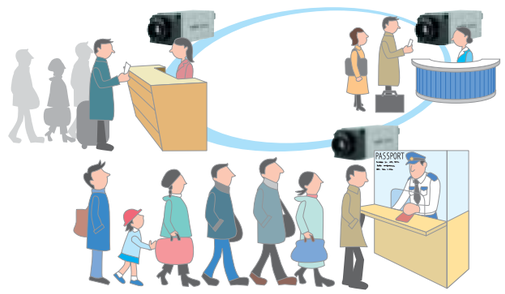
1 受付モデル　企業等の受付・守衛所に常時設置

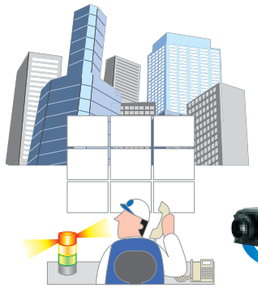
専用ソフトウェアで「だれでもすぐに使い始められる」受付専用モデルもご提供可能です。無人受付モードなど様々な受付のシーンに適応可能です。

2 入場監視モデル　イベントホール・商業施設などの入場口に仮設

アラーム検知時のデータ自動記録機能、可視＋熱アラームの画像ミキシング表示など、空港検疫などで実績のある高性能TVSシリーズ。デジカメ同様簡単操作で簡易計測に適したF30と、手持ちでの単体使用・受付簡易モデルのどちらにも対応可能なモデルです。

3 統合型監視システム　自治体・公共機関・警備会社様などの集中監視





LAN対応の設置型モデルです。アラーム情報・熱画像などのデータをネットワークで一元管理。もちろん一般の監視カメラ（可視画像）も加えて警備室・総務危機管理室などで集中監視を実現します。

SecureParty*
※統合映像監視ソフトウエア
（日本電気通信システム（株））

スクリーニング判定値設定支援機能を新搭載!

独自のアルゴリズムで簡易操作を実現

環境温度からスクリーニング判定基準の推奨値を反映

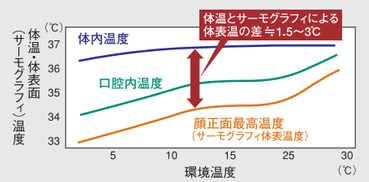
（注1）環境温度はマニュアル入力　（注2）スクリーニング判定基準値は、本体アラーム表示の設定温度値

人の体表温度は、体内温度とは異なります。また環境温度によっても変化します。従ってスクリーニングの判定基準値は、環境温度を考慮した設定変更が必要になる場合があります。弊社では、実験による検証と豊富の実績で得た経験から、独自の検証データに基づくアルゴリズムにより「環境温度」に対応した「スクリーニング判定基準値」設定を反映する「スクリーニング判定値設定支援機能」を開発、全てのシステムに搭載しました。

本機能は、従来お客様がご自身のノウハウで独自に決定していた判定基準値の設定を、環境温度入力により判定基準値の目安を表示・反映することで大幅に支援、「より簡単に運用できる」システムの実現を目指しております。

※室温25℃一定の理想的な環境で【スクリーニング判定支援機能】によるスクリーニングの結果、体温計38℃以上の発熱者検知率は80%以上。（当社検証による。使用環境により検知率や誤認率は変化します。）※本装置は体表温を観測するもので、体温計ではありません。また診断診療など医療行為にはご利用いただけません。※本装置は体表温でスクリーニングを実施します。体表温は体の表面(皮膚・髪)温度で、一般的に体温計よりも低めに表示されます。体温に比較して天候・環境・気温などの影響を受けやすいため、スクリーニング判定基準を状況に合わせて変更する必要があります。

体温と顔の温度（サーモグラフィ）の関係 模式図



一般的に体温計よりもサーモグラフィで見た体表温度は環境（気温・湿度・風・発汗など）の影響を受け、低く表示されます。